

令和6年8月21日(水) 専門研修3「発達障がいのある生徒のライフステージに応じた支援～豊かな現在(いま)が未来を拓く～」を実施しました。



講義1では、「発達障がいのある生徒のライフステージに応じた課題と対応」として、本人との自立と社会参加に向け、何ができるか、本人との対話の重要性や行動の背景・要因を探ることの大切さなどについてお伝えしました。また生徒の行動をどう理解し、どのように対応するかについて、演習を通して、考えました。



協議では「自己理解につなぐための指導の実際～生徒が、自己と向き合うこと～」をテーマに話し合いを行いました。各実践の報告を聞き合いながら「生徒の自立と社会参加を見据え、本人に最も必要な教育を提供するために私たちにできることは何か」について、活発な対話が行われました。

講義2(公開講座)では、発達障がいのある生徒の充実した現在と豊かな未来のために」と題して、国立特別支援教育総合研究所 総括研究員 井上 秀和 先生より講話をいただきました。



合理的配慮や基礎的環境整備について、肯定的な自己理解の重要性や本人との対話の重要性等について具体的な事例を交えて話をいただきました。受講者からは、「合理的配慮の実践の話がうかがいながら、社会参加に向けた支援の在り方、本人の援助希求などについても考える機会となった」「生徒と対話し、生徒がどうなりたいのかを聞き出しながら、支援をしていきたい」などの声がありました。生徒の豊かな未来に向け、私たちにできることを深く考える1日となったようです。